



# 議会だより

発行 三好市議会  
 編集 議会広報編集委員会  
 住所 〒778-8501  
 三好市池田町シンマチ1500番地2  
 TEL 0883-72-7630  
 FAX 0883-72-3494  
 2010年5月10日発行

## 目次

表紙・写真	.....	P 1
新議員の紹介	.....	P 2
議決結果一覧	.....	P 3
代表質問	.....	P 4~P 6
一般質問	.....	P 7~P14
常任委員会報告	.....	P15~P17
編集後記・その他	.....	P18

## 定例会の会議録が閲覧できます

定例会での質問や答弁の内容を詳しく知りたい方は、次の方法で閲覧できます。

- ① 製本会議録を閲覧する方法  
市役所4階議会事務局にて閲覧できます。
- ② インターネット上で閲覧する方法  
三好市ホームページ <http://www.city-miyoshi.jp/> から、

市 議 会

議事録検索システム

より閲覧することができます。



新緑の中の奥祖谷二重かずら橋(女橋)

# 市政発展のため 24人の新議員決まる

任期満了に伴う三好市議会議員選挙（定数24）が4月11日に投開票され、新議員の顔ぶれが決まりました。定数を4人上回る激戦の中、現職19人、新人5人が当選しました。

任期は平成22年4月16日より平成26年4月15日まで。

（年齢は4月16日現在）



あもう まさり  
天羽 強  
(55)  
無所属  
池田町ヤマダ



にしたに きよし  
西谷 清  
(66)  
無所属  
東祖谷京上



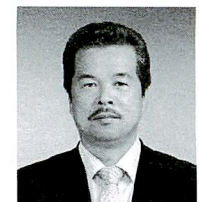
なみおか かずひさ  
並岡 和久  
(55)  
無所属  
山城町大月



こんどう ただあき  
近藤 忠明  
(49)  
無所属  
井川町井内西



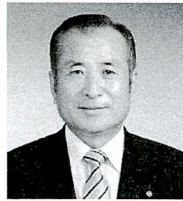
たつかわ かずひろ  
立川 一広  
(61)  
無所属  
井川町辻



どい ただゆき  
土井 忠行  
(53)  
無所属  
三野町加茂野宮



にしうち ひろま  
西内 浩真  
(37)  
無所属  
池田町中西



み き かずひろ  
三木 和弘  
(62)  
無所属  
池田町中西



やまご とかお  
山子 凱雄  
(69)  
無所属  
山城町下名



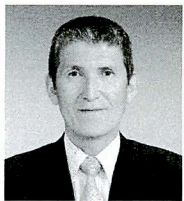
おおうら ただし  
大浦 忠司  
(58)  
無所属  
三野町太刀野山



よしだ かずお  
吉田 和男  
(62)  
無所属  
東祖谷京上



みやうち あきし  
宮内 明治  
(74)  
無所属  
井川町西井川



ちば きよはる  
千葉 清春  
(56)  
無所属  
三野町太刀野



たかい まさよ  
高井 マサ代  
(63)  
無所属  
池田町中西



ひらた まさひろ  
平田 政廣  
(57)  
無所属  
山城町上名



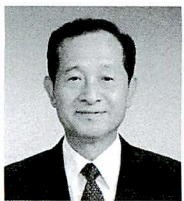
おおぐろ しんいちろう  
大黒 慎一郎  
(70)  
無所属  
池田町川崎



ひらおか しんじ  
平岡 進治  
(60)  
無所属  
池田町松尾



みなみ もりはる  
美浪 盛晴  
(57)  
日本共産党  
井川町タクミ田



ふるい たかし  
古井 孝司  
(61)  
公明党  
西祖谷山村尾井の内



かきおか としひろ  
柿岡 敏弘  
(53)  
無所属  
山城町引地



ただ たかし  
多田 敬  
(63)  
無所属  
三野町清水



きのした よしゆき  
木下 善之  
(57)  
無所属  
池田町白地



いたみ せいじ  
伊丹 征治  
(68)  
無所属  
池田町土津



なか こうじ  
中 耕司  
(52)  
無所属  
三野町太刀野山

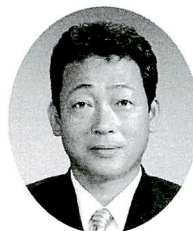
## 平成22年3月定例会に提出された議案・議決結果は、次のとおりです。

議案番号	件名	議決結果	議案番号	件名	議決結果
議案第1号	債権の放棄について	可決	議案第23号	平成21年度三好市水道事業会計補正予算(第3号)	可決
議案第2号	市道の廃止について	可決	議案第24号	平成22年度三好市一般会計予算	可決
議案第3号	市道の認定について	可決	議案第25号	平成22年度三好市国民健康保険特別会計予算	可決
議案第4号	三好市重要伝統的建造物群保存地区公開施設の設置及び管理に関する条例の制定について	可決	議案第26号	平成22年度三好市老人保健特別会計予算	可決
議案第5号	三好市特別養護老人ホーム長生園事業基金条例の制定について	可決	議案第27号	平成22年度三好市後期高齢者医療特別会計予算	可決
議案第6号	三好市放課後児童クラブの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	可決	議案第28号	平成22年度三好市特別養護老人ホーム長生園特別会計予算	可決
議案第7号	三好市池田図書館条例の一部を改正する条例について	可決	議案第29号	平成22年度三好市農業集落排水事業特別会計予算	可決
議案第8号	奥祖谷観光周遊モノレールの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	可決	議案第30号	平成22年度三好市浄化槽事業特別会計予算	可決
議案第9号	三好市森林総合利用施設祖谷溪キャンプ村の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	可決	議案第31号	平成22年度三好市ケーブルテレビ事業特別会計予算	可決
議案第10号	三好市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	可決	議案第32号	平成22年度三好市土地取得事業特別会計予算	可決
議案第11号	三好市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例について	可決	議案第33号	平成22年度三好市給食事業特別会計予算	可決
議案第12号	三好市駐車場条例等の一部を改正する条例について	可決	議案第34号	平成22年度三好市井内財産区特別会計予算	可決
議案第13号	三好市東祖谷生涯学習交流センター条例等の一部を改正する条例について	可決	議案第35号	平成22年度三好市簡易水道事業特別会計予算	可決
議案第14号	三好市簡易給水施設給水条例の一部を改正する条例について	可決	議案第36号	平成22年度三好市水道事業会計予算	可決
議案第15号	三好市特産物生産奨励条例の一部を改正する条例について	可決	議案第37号	平成22年度三好市国民健康保険市立三野病院特別会計予算	可決
議案第16号	三好市スクールバスの運行及び住民利用に関する条例の一部を改正する条例について	可決	議案第38号	建物の取得について	可決
議案第17号	三好市ケーブルテレビ条例の一部を改正する条例について	可決	議案第39号	平成21年度三好市一般会計補正予算(第8号)	可決
議案第18号	平成21年度三好市一般会計補正予算(第7号)	可決	議案第40号	平成21年度三好市農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号)	可決
議案第19号	平成21年度三好市国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	可決	請願第1号	家族従業者の人権保障のため「所得税法第56条の廃止をもとめる意見書」の採択を求める請願書	不採択
議案第20号	平成21年度三好市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可決	同意第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	同意
議案第21号	平成21年度三好市ケーブルテレビ事業特別会計補正予算(第3号)	可決	発議第1号	三好市議会議員政治倫理条例の一部を改正する条例について	可決
議案第22号	平成21年度三好市簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)	可決	発議第2号	周産期医療体制の確立を求める意見書の提出について	可決

## 代表質問

○今後の市政運営の基本的な考え方について

○今後の具体的な各種施策について



宮成 政信

【質問】

今議会で、平成二十二年度一般会計の新年度予算が前年比三・五パーセント減の二百三十二億四千万円余りで提案されている。

市長は、今後どのような市政運営を目指しているか。基本的な考えを伺う。

【答 弁】

市民がまちづくりや行政運営に参画できるような制度を創設し、真の意味での「市民が主役のまちづくり」を進めていく。また、観光産業を中心に豊富な観光資源や広大な森林資源などを活用し、新

たな産業の創出や雇用の確保、人材育成などの取り組みを行い、地域の活性化に繋げる。

【質問】

市長は、観光をリーディング産業として振興を図ることは、農林業等の他の産業への波及効果があり、地域振興の手段として観光施策を展開するというが、具体的にどのような考えか。

【答 弁】

地場産業などを積極的に販売するとともに、農産物や間伐材を利用した新しい商品開発のための講習会や研究会を開催し、購買意欲をそめる地場産品の育成を図る。また、農家民泊をして田舎での生活体験を目的とした教育旅行の受け入れを強力に推進する。三好市の多様な観光資源を最大限に活用し、「本物の田舎を体験し、ゆったりと滞在できる観光地」を目指して官民協働で観光振興を押し進めていく。

【質問】

山城町大歩危地域は無医地区の状態が続いているが、今後どのように無医地区を解消していくのか。

【答 弁】

徳島県が地域医療計画として策定した「西部地域医療拠点」機能整備計画にへき地医療対策の事業があり、この中で、無医地区である山城町大歩危地域に出張診療所を整備し、医師派遣等について地元医師会、県立三好病院、西祖谷山村診療所と連携を図りながら、へき地における住民の医療を確保する事としており、三好市としても積極的に取り組んでいく。

【質問】

合併時の協定事項により「十年度をめどに本庁方式に移行する」ということで、各総合支所の住民サービス低下が懸念されるが、その解消策は。

【答 弁】

総合支所の市民課の業務は継続する。緊急を要するものや、水道

や市営住宅等については、職員を配置し、これまでと変わらないサービスの提供ができるよう努める。

また、総合支所の施設については、旧町村の中心的な拠点施設として維持していくこととしており、今後は地域の活性化に繋がるような整備を官民挙げて取り組む。

【質問】

合併時の厳しい財政状況から、現在は持続可能な財政構造になりつつあると考えるが、今後についてはどのような財政運営を考えているか。

【答 弁】

平成二十八年以降、大幅に減っていく地方交付税に備えて引き続き第二次行財政改革大綱の実施や事務事業評価を全事業において行い、行財政の無駄を省くとともに重点施策など必要な事業にはしっかりと予算をつける。そして、今後も貯金は増やし、借金は減らしていくという、将来にわたり継続した財政運営が行えるよう努める。

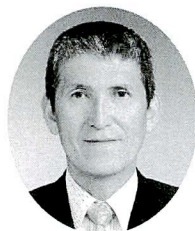
## 代表質問

○市長の今後四年間の市政・施策について

○登録有形文化財について

○市立三野病院について

○平成二十二年度当初予算について



千葉 清春

【質問】  
実効性のある農業振興策は。

【答 弁】

中山間地域における零細規模農家が大半で急傾斜地が多く、立地的に悪条件下にある。核家族化の進行、宅地化、離農、高齢化、担い手不足、耕作放棄地が増大するなど、農業生産基盤の弱体化が危惧されるが、ナス・キュウリ・イチゴ・茶・ユズ・トマト・山菜・花卉・ソバ・コンニャク・ホウレンソウ・菌床シイタケ・ブローラー・おいしい米づくりなどに力を注ぎ、ブランド化をめざす。

【質問】  
荒廃が続く林業の活性化対策について。

【答 弁】

国の一〇〇％負担で間伐ができ、個人負担が必要な事業は、市が補填して林家負担を免除し森林整備を促進している。木材需要の促進対策として、三好木材センターと連携し、香川の松・徳島の杉というブランド化の売りで、香川県でもPR活動を行い、木材利用促進を行っている。

公共施設は、出来る限り木造建築で行う。積み木ハウスのブロック製造、木製ガードレール、森林資源の適正管理、利活用に積極的に取り組む。

【質問】

観光資源の開発とその為の施設整備は。

【答 弁】

田舎暮らし体験、地産地消の促進と古民家の再生と利活用、伝統、伝説、伝承文化の活用・平家落人伝説めぐり・大歩危妖怪村の妖怪展示館や妖怪の里めぐり・東祖谷かかしの里事業・まち歩きガイド・農家民泊の教育旅行の受け入れ・ラフティング・井川スキー事業などを推進する。

【質問】

企業誘致と雇用対策について問う。

【答 弁】

企業訪問、ホームページや専門誌への広告など、PR活動の強化をする。施設整備や雇用など、再就職緊急支援事業の活用、補助金の交付要件の緩和をする。

【質問】

登録有形文化財の旧三野町役場庁舎の保存と、今後において図書館として利用できないか。

【答 弁】

文化財保護の観点から、建造物の現況調査を実施し、耐震診断の検討や緊急度の高いものは、修繕・修復等により良好な管理と保護を検討する。今後の活用は図書館の移転も含めて検討する。

【質問】

三野病院の診療と改築について。

【答 弁】

超高齢化社会の到来により、脳卒中、大腿骨頸部骨折等の患者の増加が予想され、超急性期後の受け皿として、回復期等のリハビリテーション機能を担うことで、三好病院と三野病院との機能分化を図るとともに、連携の強化により、地域で必要とされる医療体制が出来る。

リハビリテーション室、給食厨房、デイルーム、地域連携室等を整備する事により、より多くの患者を受け入れることが出来る。言語聴覚障害児のリハビリテーションにも取り組む。

環境面で見ても、病院西側の河内谷は公園や遊歩道が整い、外出が可能な患者の屋外でのリハビリテーションには最適である。以上の事により内科系中心の病院経営を継続する場合に比べ、経営状況は好転する。

【質問】  
平成二十二年度当初予算と前年度との比較について。

【答 弁】

一般会計の総額二百二十三億四千四百四十八万円、前年度比三五％の減だが、通常からすると、選挙を控えた年でもあり、政策的経費については補正予算対応も考えられることから、そういう意味では大型予算である。行政に欠かせない基礎的経費が議会費と総務費で、約二十六億円・健康と福祉を支える予算、民生費、衛生費が、約七十九億円・商工費、農林水産費が、約十七億円・教育予算、約十七億円・市道など社会的なインフラ整備の土木費、約二十一億円・借金返済の予算、約六十二億円となっている。予算を別の観点から見れば、歳入において入手可能な自主財源が約五十一億円それ以外の依存財源が約百八十二億円である。

【質問】

【答 弁】

## 代表質問

○平成二十二年度実施予定の公共事業について

○「まちづくり基本条例」の制定について

○児童の医療費と保育料の減免について

○有害鳥獣対策について

○山間部における給水施設について



西谷 清

### 【質問】

市長は二十二年度は公共事業を中心とした雇用創出を積極的に図るとしているが、どのように公共事業を創出・推進していくのか。

### 【答 弁】

市長

二十一年度補正予算で、約五億円を計上し、事実上切れ目のない予算編成とした。事業仕分けなどの関係で予算計上を見送った義務教育施設や農道整備、その他の公共事業については今後国の動向を

見きわめながら補正予算で対応し、二十一年度を上回る規模の公共事業予算となるよう取り組む。

### 【質問】

林業へシフトした公共事業、又林業振興面からも林地内作業道開設を推進すべきだ。

### 【答 弁】

産業観光部長

ご指摘のとおりだが、作業道については現在国の補助事業がほとんどない。高性能林業機械が入らない所もある。今後、市単独、国・県へも積極的に要望し、できるだけの努力を傾注したい。

### 【質問】

三好市のこれからの方向性や将来像構築のため「まちづくり基本条例」を制定するところがあるが、どのような内容になるのか。

### 【答 弁】

市長

まちづくり基本条例は、自治基本条例とも呼ばれ、まちづくりの基本的なルールを定めるもの。先進的な事例では、まちづくりの基本理念や基本原則、市民の権利・責務、そして行政や議会の責務といったものを盛り込んでいる。

この条例は、市民主導型で進め、三好市の特徴が顕著にあらわれた

三好市独自のまちづくりの基本条例になるのではと期待している。

### 【質問】

小学三年生までの医療費の拡大と多子世帯の第三子以降の三歳未満児の保育料の軽減を行うところがあるが、この恩恵を受ける世帯数及び人数はどのくらいになるか。

### 【答 弁】

福祉事務所長

乳児医療費については、対象を就学前までから小学三年生までに拡大した。拡大による対象者は六百名で合計千八百名になる。

保育料の減免については、国の基準額上限は七万七千円と定められているが、三好市ではこれまでも上限額を二万五千円に減額している。その他さまざまな軽減策を実施している。今回の軽減対象者は十八名となる。

### 【質問】

猟・猪・鹿等、有害鳥獣対策については思ったように成果があがらない。今後、より以上に成果をあげるためにどのような対策を考えているか。

### 【答 弁】

産業観光部長

鳥獣害対策は、全国的にもまだ抜本的な解決策は見当たらない。

今後、捕獲奨励金アップ、防除柵などに対する補助率のかさ上げや補助要件の緩和措置も実施したい。また、国・県に対して積極的に要望していくとともに、電気牧柵や獣害ネットの設置、追い払いやワナ、銃器などによる駆除体制の整備など防除と捕獲両面の強化に加え、人と鳥獣との共生も含めた環境づくりの推進も図ってきたい。

### 【質問】

人口の少ない山間地域においては、現行の簡易水道の新規開設は困難と思うが、生活用水の維持・確保を支援するため、地域の既存の給水施設を活用して三好市独自の方法を模索してはどうか。

### 【答 弁】

水道課長

山間部の人口の少ない地域では新規の簡易水道の開設は困難であり、また、地区組合への支援・補助も受益者負担の原則から難しい。しかし、高齢者や社会的弱者に対する生活用水確保の問題は、できるだけ負担を軽減できる方策を検討する必要があると考えている。市の飲料水施設設置費補助金交付要綱の見直しも含め、新しい方法対策を検討していきたい。

## 一般質問

○まちづくりの方法について  
○行財政改革について



国久 正明

〔質問〕

議員、行政に携わる者は、つねにまちづくり・行政改革を推進する使命を持っている。

そこで、まちづくりの一つの方法として地域自治振興事業に取り組む考えはないか。そのために、職員のスキルアップをしなければならぬが、どのように取り組んでいくのか。

〔答弁〕

地域振興事業実施には、組織の範囲決定、組織づくり、実施組織の選定方法、財源などの問題があるが、元気なまちづくり奨励金事業でモデル的な事業が実施できないか検討していきたい。また、さまざまな地域課題の解決のため、職員が地域活動に一市民として関わることは大変重要なことだと考

えており、積極的に参加できるように平成二十二年に三好市人材育成基本方針を策定している。この方針に基づき研修などを通じ意識改革を図り、地域活動の参加意欲の高揚に取り組んでいる。

〔質問〕

行財政改革の一環として、保育所の民間委託、ごみ収集の民間委託、学校給食の民間委託をどのように考えているか。

〔答弁〕

保育所の民間委託については、子育て支援や就学前教育の充実、効率的運用を図るため、幼・保一元化も含め、施設の統廃合を検討することとしており、現在認定こども園や幼・保の統廃合、指定管理者制度を含めた民間委託の調査研究を検討部会で行っている。

ごみ収集業務の民間委託等については、順次民間委託を推進しており、現行の計画では平成二十九年には市内全域を民間委託する計画にしている。

学校給食業務の民間委託等の推進については調理部門を欠員不補充とし、将来の小・中学校の統廃合も考慮し、給食センター化を含めた施設の統廃合を推進していく。

○平成二十二年度当初予算の諸般について  
○耕作放棄地対策について



山子 凱雄

〔質問〕

新政権の下、政権公約に基づく政府予算案は九十二兆二千九百億円。政策の転換と金の使い方が変わる。地方税収が落ち込む中で地方交付税や地方の財源不足の補填など国の地方再生措置をどのように評価しているか。三好市の厳しい経済雇用状況に鑑み本市の当初予算は事業を積極的に取り組み、二百三十三億四千万円、雇用の維持創出など予算編成の力点を問う。

〔答弁〕

今回の地方財政措置は地域主権の確立と地域間格差の是非を理念とし、地方交付税、臨時財政対策債など大幅に増額し地方の財政運営に支障が出ないように配慮されている。公共事業に依存した本市の産業構造は時代に即した転換、急激な政策変更でなく緩やかな移行に努める。平成二十二年度当初予算は事業を積極的に組み入れ厳

しい状況に対応、平成二十一年度補正、臨時交付金事業などに続き切れ目のない予算編成を行い雇用の維持創出を下支えにし効果を期待する。

〔質問〕

耕作放棄地は全国で三十八万六千ヘクタール。中山間平坦部を問わず発生している。その要因は高齢化・後継者の問題・生産性が低い・鳥獣害・他産業へ従事などによる。本市の耕作放棄地の所管の実態調査はどうなっているか。対策として三好市の条件に合った農地の再生利用及び国・県の支援策を活かし市は現状にどう対応されるのか。

〔答弁〕

本市の耕地面積一六五〇ヘクタールのうち耕作放棄地は七三〇ヘクタール。その割合は四十八パーセントを超え県平均の一五・九パーセントより高い。一筆調査を進め四段階に判定、農業委員会で非農地判定を実施。中山間地域直接支払制度や国の耕作放棄地再生利用緊急対策事業を活かし対応する。農産物のソバ・コンニャクや工芸作物であるミツマタなどの栽培を奨励する。作業の受委託促進を事業体であるJA阿波みよしアグリサポートセンター及び県農業支援センター・東みよし町と連携して取り組む。

## 一般質問

○喫煙による健康被害と対策について

○観光関連施設の充実について

○案内板について



谷口 正文

**【質問】**  
受動喫煙を防ぐため、厚労省は飲食店やホテル、百貨店など多数の人が利用する公共的な施設に対し、建物内での全面禁煙の通知文を自治体に出し、業界団体に周知を図り、分煙も含め、協力を求めるとしているが、市民の健康を守る観点から今後三好市の対応について伺う。

**【答弁】**

現在、三好市内の公共施設では、敷地内禁煙、建物内禁煙、完全分煙、分煙等の防止対策を行っているが、まだ完全な対策はできていない。今後、受動喫煙防止対策の状況調査を行うとともに、国の通知文等を参考にしながら、市民に対し、受動喫煙に関する啓発を行い、喫煙者、非喫煙者のお互いの権利を守りつつ、非喫煙者が受動喫煙による健康被害に遭わないよう、対策に取り組んでいきたい。

**【質問】**

三好市の観光の活性化、また市民の利便性の向上を図るため、井川池田ICと三島川之江ICの間にインターチェンジができれば利便性が向上すると思うが、今後要望を行うのか。

**【答弁】**

交通実態把握と利用交通量の予測並びにパーキングエリアへのアクセス道の概略設計を行い、費用対効果を分析するため、この三月より調査に入る予定となっている。その調査結果を見ながら、今後積極的に協議を重ね、要望もしていきたい。

**【質問】**

外国人の観光客誘致を国、県とも積極的にやっているが、本市の受け入れ態勢の一つとして、公共の施設、道路標識等の案内板等について、英字、またはハングル文字の表記が必要不可欠と思うが今後どのようにするのか、現状も聞きたい。

**【答弁】**

英語標記の案内板の整備など英語圏を中心とした受け入れ態勢の整備を進めているが、中国、韓国などアジアの国々の観光動向にも目を向け、観光客の誘客に向けた取り組みや他言語のパンフレット作成、あるいは案内板の整備を進め、外国人が三好市を訪れ、周遊しやすいような受け入れ態勢の整備を図っていきたい。

○井川町辻地区の水道水の水質問題について

○独居老人対策について



立川 一広

**【質問】**

井川町辻地区の水道水の水質問題が発生してから、間もなく五年が経過しようとしている。四年間の間に市は水質検査は行っており、蛇口から出ている水は心配ないとの意見であるが、今回この問題について尋ねる。

井川町辻地区の住民は今も水道水の水質に対して不安を抱いている。今の水道水は怖くて飲めないという返事が返ってくる。市民のこうした不安を解決するのは誰の責任か。私は行政の責任だと思つて。①水質検査以外にどのような対応をとってきたのか。②水質検査の結果を水を飲んでいない地域の方々に説明をしたのか。

③辻地区の住民はこの問題について大きな不安を持っている。

水道水の問題についてどのような方向に持っていくのか。

**【答弁】**

ホームページでの公表以外、地域の方への周知ができていなかったことについては、大変申し訳なく思っている。

今後市の広報などでも周知し、市民の皆様へ安全であるということとを周知していきたい。

**【質問】**

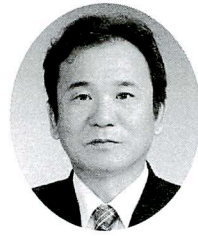
独居老人対策について緊急通報装置を貸し出す事業を実施しているが、独居老人全員が対象になっているのではなく、市民税非課税世帯が対象となっている。独居老人対策としては十分なものは。

**【答弁】**

安否センサーについては、ケーブルテレビの光ファイバーを利用して独居高齢者の安否確認センサーを使って、全世帯に増やしていきたい。



○バイオマスタウン事業の環境としてバイオマス資源を主原料とする生分解性プラスチックポリ乳酸製造事業の推進について



並岡 和久

【質問】

ポリ乳酸製造事業は、地球にとって最も必要な事業であると考ええる。また、現実として脱化石資源の声が高まる中、十数年後には町を走る車の半数以上が電気自動車になると言われている。既存の石油由来のプラスチックの限界は、目の前に迫っており、プラスチック原料はその値段にかかわらず、代替としてポリ乳酸を使用せざるを得なくなるといふことをあらわしている。

三好市として、市独自による安

定した雇用の場を確保するために、ポリ乳酸製造事業のパイロットプラントの実証プラントの建設をす

【答弁】

前述のプラントが三好市内に立地が可能なら、これらの主原料が多用途米として、ポリ乳酸の原料とし水田転作物として奨励したり、耕作放棄地の解消対策として栽培し、主食用並みの価格で取引をされるならば、三好市内においても一定の作付拡大が図られ、農用地の有効活用にもつながると思われる。また、地域雇用の場の創出が図られ、若者を中心とした人口の定住にもつながり、地域経済の活性化においても大きな効果があると考ええる。

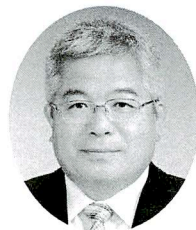
三好市において実証プラントを建設する考えについては、日本国内でも多くの企業や研究機関が実証プラントを持ち、研究を重ねているところであり、市が建設するといつよりもそうした企業や研究機関を誘致することが理想的であり、かつ効果的であると考ええる。

○国保税・介護保険料の負担の軽減を求める

○子どもの医療費は中学校卒業まで無料にする考えはないか

○辺地タクシー補助制度を拡大する考えはないか

○辻地区の水問題について



美浪 盛晴

【質問】

共産党が六千世帯にアンケート用紙を配布して、返信が5%あった。中でも国保税が高すぎるという声が多い。市の国保は十二億円もの黒字だ。一世帯当り二十四万円だ。税を引き下げよ。介護保険料も準備基金を取り崩して引き下げよ。

【答弁】

著しく高いとは思わない。二十二年度は、限度額は上げるが税率は据え置く。広域連合の介護保険料は次期計画まで変更しない。

【質問】

市の子どもの医療費は小学三年

生まで無料だが、美馬市は小学卒業まで、藍住町は中学卒業まで無料だ。他市に先駆けて中学卒業まで無料にしようではないか。

【答弁】

中学卒業まで無料化の財源には約五千二百万円必要である。今後拡大の方向で慎重に検証する。

【質問】

辺地タクシー補助制度は好評だが、集落の一部だけの範囲だ。バス停から二千メートル以上の範囲を拡大して千メートル以上にしてほしい。

【答弁】

この制度の定着を推進し、その後検証してから距離短縮に取り組んでいきたい。

【質問】

立川議員の「水の安全宣言」を求める質問と市側の答弁には全く納得できない。二十倍に薄めて飲めば大丈夫とは言えない。汚泥の不法投棄による重金属汚染や窒素汚染から井内谷川をきれいにする取り組みをなぜしないのか。

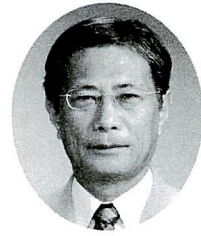
【答弁】

多美谷は、水質汚濁防止法基準値を超える現況が無いこと、CODと全窒素は高いが安定している。簡易水道の取水口は一段低い数値で問題ない。

# 一般質問

○入札問題について

○税金等滞納問題の取り組みについて



篠原 孝行

**〔質問〕**  
市長は、二月四日指名審査委員会が適格とした業者を入札から外した。総合的な判断事項は。

**〔答弁〕** 市長  
市の選定要綱・停止等措置要綱に基づいた。

**〔答弁〕**  
年間平均完成工事高や経営規模、経営比率などによる総合数値、工事の成績や経歴、建設機械、安全成績、労働福祉の状況などによる総合数値をもとに行われる業者の格付や地域性、業者の能力、経営規模、工事成績、信用度、地理的条件、手持ち事業などで判断。

**〔質問〕**  
四月の市長選挙と関連があるのか。

**〔答弁〕**  
市長選挙に関連して選定を行う意図は一切ない。

**〔質問〕**  
現時点の税金等公共料金の滞納額は。

**〔答弁〕**  
市税及び国保税の税金等が五億一三〇〇万円、住宅使用料及び水道使用料の使用料が一億六〇〇万円、保育所及び福祉施設等の負担金が三一〇〇万円、その他未収金が九〇〇万円。一月末現在で約一億九〇〇万円。現在の滞納額は約五億五〇〇〇万円。

**〔質問〕**  
対応策は。

**〔答弁〕**  
滞納者に電話、文書による催告、戸別訪問での徴収や納税相談の実施。支払い能力がある滞納者は、徳島滞納整理機構へ徴収を移管。差し押さえ等の強制徴収。コンビニ収納を四月から導入。

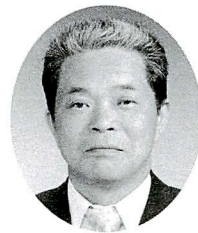
**〔質問〕**  
今後の対応策は。

**〔答弁〕**  
税務課収納室に徴収嘱託職員を雇用し、徴収体制の強化。三好市市税等滞納整理対策本部を設立。

○地域自治区について

○高齢者の生活支援対策について

○水道未普及地域の新たな対策について



平田 政廣

**〔質問〕**  
市長は所信表明で新政権誕生後、地域主権の確立に向けた制度改革の取り組みが進んでいるとの認識を示した。地域のことは地域で決める。地域が結果に責任を持つとすれば、地方自治法に基づく地域自治区を設置する必要がある。

**〔答弁〕**  
各総合支所に作られている振興協議会を活用しながら住民参加の取り組みを進め、必要となれば将来に向けて検討する。

**〔質問〕**  
市内の高齢化比率は、山間急傾

斜地域で高く、一人暮らしの高齢者と高齢者だけの世帯人口比率は西祖谷十八％、山城十七％とこれも山間急傾斜地域が高い。

一週間に一、二回の集落内巡回バスを走らせ高齢者などの生活交通を確保する必要がある。

**〔答弁〕**  
利用者、事業者が参加している三好公共交通活性化協議会で運行路線の再編や運行形態の変更も視野に入れ地域にとって最適な公共交通の在り方を検討したい。

**〔質問〕**  
水道普及率は東祖谷四・七％・西祖谷二四・三％・山城七二・五％と山間部が普及してない。人が生きる為に必要な条件は第一に空気が無ければ五分の命、水が無ければ一週間の命、食糧が無ければ一月の命となる。二番目に大切な水について、過疎法延長期間内に市独自の支援策を講じ早期に対策をすべきである。

**〔答弁〕**  
既存の補助事業に馴染まない地域が残っているので独自の三好市方式を作り支援をしていく。

## 一般質問

### ○高齢化社会に対応する施策について



大黒慎一郎

#### 【質問】

- ①七十五歳以上の人口の推移について
- ②特別養護老人ホームへの入所希望待機者について
- ③高齢者生きがい活動、利用者数について
- ④特別養護老人ホームの増設について
- ⑤介護保険事業のデイサービス利用者数について

#### 【答弁】

- ①三好市の七十五歳以上の人口は平成二十四年をピークに緩やかに減少の予定である。
- ②特別養護老人ホームの入所希望待機者は二二四人。
- ③高齢者生きがい活動利用者数九



○二人。介護保険のデイサービス利用者数は六九二件。

④特別養護老人ホームは三年毎に策定される介護保険事業計画では厚生省から示された国の標準を十パーセント近く超過しており今後の施設の増設計画は、現在のところ認められない。

⑤徳島県においては全国一の整備率となっており、今後の増床は難しい状況と思われる。在宅介護が難しい高齢者対策として、現在設置している施設の効率的利用と在宅サービス等の介護支援の充実に努めていく。

### ○地域医療再生について



中 耕司

#### 【質問】

徳島県地域医療再生計画によると、三好市は徳島県西部Ⅱ医療圏に属する。当医療圏の課題は、①圏域内の広大な山間地域からの搬送 ②圏域内の医療機関の連携不足 ③医師・看護師等の安定的な確保 ④圏域内の無医地区の解消等である。県は、これらの課題解決のため、救急医療を中心とした地域完結型医療提携体制の整備を目標としている。徳島県地域医療再生計画での市立三野病院の役割と今後の方針について問う。

#### 【答弁】

市立三野病院では、リハビリテーション機能をより充実し、回復期等の患者の受け皿となることで、

県立三好病院との連携・機能分担をより明確化する。現在の内科系一般病床三十床、入院患者及び外来患者のリハビリテーション室、給食厨房、デイルーム、地域連携室を整備したい。旧入院棟棟跡地は駐車場に整備したい。

#### 【質問】

地域医療再生計画の今後の流れと、課題克服のためどのように取り組むのか。

#### 【答弁】

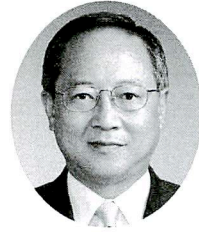
新年度から協議会を立ち上げ、県立三好病院にへリポートの整備、院内の助産所の整備、周産期医療連携体制の構築、がん診療連携地域センターの機能強化、看護師等の養成と確保、出張診療所を設置し無医地区の解消、夜間休日医療体制の強化について協議する。

この度の地域医療再生基金事業は、約二十五億円を西部医療圏域に集中投資される。今後は東部Ⅰ医療圏の支援を働きかけ、地域の完結型医療を目指す。

## 一般質問

○吉野川の利活用について

○かずら橋地区の景観について



宮西 智

吉野川の利活用について

- ①池田ダム湖での鵜飼遊覧船事業の推進を図るべきではないか。
- ②アメゴやニジマスを吉野川に放流してルアーフィッシングやフライフィッシングのメッカにするべきでないか。

〔答弁〕

①湖面活用意見交換会などで検討した結果、上流部の流れのある場所では鵜飼が可能と思われるが深場では、アユの定着やえさ場の問題から難しいとの結論に至っている。

②三好市としては漁業協同組合や各団体と協議しながらスポーツ

フィッシングの大会などの実現に向けて取り組んでいきたい。

〔質問〕

- かずら橋の景観について
- ①建物の外観や屋根の色統一
- ②看板の統一
- ③電線の地下埋設
- ④空き店舗の活用
- ⑤中小企業や観光客が利用できる温泉の掘削

〔答弁〕

統一した景観対策が必要であると考えていて、三好市にふさわしい景観計画を策定し、対策を講じていきたい。



○池田駅前旧店舗跡地について



近藤 忠明

〔質問〕

池田町駅前商店街と隣接している旧店舗跡地等を市は昨年三月に購入し一年が経過したが、いまだに具体的な策がないのか。事業自体に糸口が見えないのが現実だと認識するが、この土地を今後どういったことに利用するのか尋ねる。

〔答弁〕

土地に隣接している市道中通線は、駅前、銀座商店街から、公共機関、池田高校などへのアクセス道であることから通行量及び人通りが比較的多い路線であるが、現道は、道路幅員三メートルと狭く、退避所もなく、車両混雑の原因となっているので、幅員五・五メートル、延長三十五メートルの拡幅工事を予定し、中心市街地交通の

円滑化を図りたい。駅前広場に二メートル程度の歩道を設置し、買い物客や通学生等の安全性、利便性、快適性を確保して車道、歩道のカラー舗装を予定し、近々この土地の造成工事を含め工事を発注する。

今後、地元商店街を含めた各種市民団体と協議のうえ、商業地域としてにぎわいに結びつくような施策を考えていく。

〔質問〕

駅前アーケードの支柱をそのまま残すのか。

〔答弁〕

撤去すれば、アーケードの構造上安全性に問題があり、支柱を残した状況で分離帯として支柱の両側に道路を設ける計画である。

《提言》

中心市街地にある高価な土地を購入したのだから、有効利用に努め、商店街や多くの商店ににぎわいを取り戻し、熱い思いをばぐむような取り組みをしていただきたいと提言する。

# 一般質問

○技術職の採用について

○路線バス区間廃止に伴う住民の移動手段について



三木 和弘

【質問】

技術職（専門職）の採用について、各部署で技術的、専門的な職員が必要とされ、既に専門課程を卒業し、採用された職員が専門部署に配置され、職務に専念されていると理解している。なお、今後必要とされる専門職員の採用に際し、卒業後民間会社等に勤務し、ある程度実務経験を有する者の採用があってもいいと考えるが、いかがお考えか。

【答弁】

これまで、事務職員の採用には民間企業の経験を有することを条件とした採用試験は行っていない。しかし、高度の専門的な知識が問

われる資格職の登用は人事戦略として大いに有効であると認識している。

今後、職員研修の充実も図りながら、必要とされる技術職の職種を調査した上で、将来を見据えた計画的かつ政策的な採用を実施していきたい。

【質問】

池田、川之江間の路線せとつちバスが廃止となる。

三好市は、急激な少子高齢化に突入しており、今後人に優しいまちづくりを進めるに当たり、地域住民また、交通弱者等の希望や意見を募り、エリアの拡大、コース、便数、運行時間を見直し、より住民の必要とする交通手段の確保に努めるべきと考えるが、いかがお考えか。

【答弁】

せとつちバス廃止後の対応について、市バス佐野池田線を平日二便増便、土曜日については一便増便し、これまで第一、第三、第五土曜日のみの運行だったものから、すべての土曜日で運行することに変更する。

○「地域主権」の評価・所見について

○地方自治法に基づく「地域自治区」を設置すべきだ

○高齢者の日常生活の維持について

○指定管理者の法令違反について



天羽 強

【質問】

時代は地方分権改革から地域主権改革に変わろうとしている。そのような時代の潮流の中にあつて、地域主権についての市長の御所見を伺う。

【答弁】

権限と財源の移譲、国と地方の協議の場の設置、ひもつき補助金を廃止し、一括交付金とするなど、地域主権の基本的な考え方は評価するが、新政権における国家ビジョンや一括交付金などの具体的な方策が打ち出されていないので、意見を述べることは控える。

【質問】

地域自治区は、市町村合併による町村の周辺から不安を取り除くことを目的として構想され、法制度化された制度だ。まちづくりを具体化する新たな仕組みとして、地域自治区を設置すべきだ。

【答弁】

各支所がまさしく地域自治区の役割を担っているとの認識である。現時点で早急な地域自治区の設置は考えていない。将来的には地域自治区などを含めて地域の実情に合った制度の研究を進めていく必要があると考えている。

【質問】

交通手段を持たない高齢者にとつては、ふだんの買い物も大きな負担だ。移動販売事業の実態調査と行政の支援は不可欠だ。

【答弁】

実態を把握した上で、移動販売支援のあり方について検討する。

【質問】

指定管理者の労働法令違反の事実が明らかとなった場合、最終的に指定を取り消す等の措置ができるかと理解してよいか。当該指定管理者で働く者から市への内部告発等によって明らかとなった場合において、内部告発等をした者に対する市の保護は行われるのか。結果として指定が取り消され、解雇等の雇用問題が生じた場合、三好市としての責任問題は発生しないのか。

【答弁】

市の指示に指定管理者が従わないときは、指定を取り消す等の措置ができるものと考えている。公益通報者保護法により公益通報者と定義され、告発、通報によりその企業から不当解雇や不利益処分を受けないよう保護されている。指定管理者とその従業員、職員との雇用問題については、その業者、会社と従業員との契約問題であり、民事問題なので、関与すべきではないと考える。

## 一般質問

○観光立市を目指した四年間の結果と今後の観光行政の取り組みについて

○まちづくりの推進は重要施策。今後の組織の再編に伴い、きめ細かなまちづくり行政の今後について

○安心、安全、安定への地域づくりのため市の取り組みについて



伊丹 征治

【質問】  
観光立市を目指した四年間の結果と今後の観光行政の取り組みについて。

【答弁】  
平成十八年度から平成二十一年度までの四力年で観光施設整備に要した工事請負費などは約四億円である。主なものは、松尾川温泉整備事業や紅葉温泉の露天風呂新築工事、東祖谷中上地区公衆便所、展望所など既存の資源と地域の特性を活かした整備を行ってきた。今後については、観光地のブランド化を目指し、旅行者の多様化

する価値観やニーズに対応し、市民全員が観光大使とした意識を共有し、市民総ぐるみでもてなしができる体制づくりの構築に努めていきたい。

【質問】  
まちづくりの推進は新市の重要施策。今後の組織の再編に伴い、きめ細かなまちづくり行政の今後を尋ねる。

【答弁】  
平成二十二年度からは組織機構改革により課の新設あるいは統合をするが、地域の実情の特性に合わせたまちづくりを行うことが肝要である。  
市民の声がまちづくりに反映されるよう努力していく。

【質問】  
安心、安全、安定への地域づくりのため市の取り組みについて尋ねる。

【答弁】  
財政の指針となる実質赤字比率、連結赤字比率、実質公債費率、将来負担率など、財政における異常数値がないかをチェックし財政の安定化に努めていく。行政改革について平成二十二年度より新たな集中改革プランを作成し、そのプランに基づき進捗状況等を明らかにし、行政改革を一層進めていきたい。

## 平成22年3月定例会で可決

### 周産期医療体制の確立を求める意見書

三好市においては、平成21年3月、徳島県立三好病院において分娩を休止して以降、市内で分娩ができる施設がなくなり、市内の妊婦が市外や県外への長距離通院を余儀なくされている。

特に、旧山城町、旧西祖谷山村、旧東祖谷山村の各地域に住む住民や妊婦にあつては、分娩を予定する医療機関に到着するまでに1時間から2時間、場合によってはそれ以上かかるケースが想定され、安心して暮らせる地域とはいえない状況となっている。

また、市内の妊婦からは、緊急時に適切な医療が受けられる体制づくりを求める声も多く、三好市における周産期医療体制の確立は急務である。

よって、本議会は、徳島県立三好病院において、周産期医療体制を講ずるよう強く求めるものである。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成22年3月19日

徳島県三好市議会

提出先（徳島県知事 徳島県病院事業管理者）

# 文教厚生常任委員会報告



委員長  
大浦 忠司

三月八日、委員会が開催され、市長提出議案十七件について審査し、提出議案は全て原案のとおり可決すべきものと決定しました。

## 文教厚生常任委員会付託案件

議案番号	件名	議決結果
議案第4号	三好市重要伝統的建造物群保存地区公開施設の設置及び管理に関する条例の制定について	可決
議案第5号	三好市特別養護老人ホーム長生園事業基金条例の制定について	可決
議案第6号	三好市放課後児童クラブの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	可決
議案第7号	三好市池田図書館条例の一部を改正する条例について	可決
議案第13号	三好市東祖谷生涯学習交流センター条例等の一部を改正する条例について	可決
議案第16号	三好市スクールバスの運行及び住民利用に関する条例の一部を改正する条例について	可決
議案第18号	平成21年度三好市一般会計補正予算(第7号)	可決
議案第19号	平成21年度三好市国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	可決
議案第20号	平成21年度三好市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可決
議案第24号	平成22年度三好市一般会計予算	可決
議案第25号	平成22年度三好市国民健康保険特別会計予算	可決
議案第26号	平成22年度三好市老人保健特別会計予算	可決
議案第27号	平成22年度三好市後期高齢者医療特別会計予算	可決
議案第28号	平成22年度三好市特別養護老人ホーム長生園特別会計予算	可決
議案第30号	平成22年度三好市浄化槽事業特別会計予算	可決
議案第33号	平成22年度三好市給食事業特別会計予算	可決
議案第37号	平成22年度三好市国民健康保険市立三野病院特別会計予算	可決

### ●議案第二十四号については

民生費・保育所費

**問** 四月から子ども手当が一万三千円支給されるが、児童手当と子ども手当は重複して支給されるのか。

**答** 子ども手当総額として月額一万三千円が支給される。その中に従来の児童手当と全額国庫補助の子ども手当が入っている。

**問** 支給の方法は。

**答** 現在児童手当を受給されている方については、支給そのものが移行されるので、申請は中学生から必要になる。四月以降、該当者に対して申請用紙を送付したいと思っているが、国県からの通達が届いていないので、今から準備をしていく。

教育費・文化財保護費

**問** 平成二十二年一月十五日に、旧三野町役場庁舎が三好市第一号となる国の登録文化財に登録され、国県から保存義務が課せられると思うが、どのような規制があるか。

**答** 登録文化財は他の指定文化財と比べ若干緩めの規制になっている。大きな規制としては、旧庁舎の改築・改修などが考えられ、外観の見える範囲の四分の一以上を改修する場合は原状変更届が必要となる。内装の改修・活用については規制がかからない

### ●議案第二十七号については

**問** 高齢者の方はジェネリック医薬品について知らない人が多いと思うが、どのような方法で高齢者、患者に説明しているのか。

**答** 三野病院は院外処方で行っており、院外薬局でのジェネリック医薬品の使用率のデータを現在把握していない。今後、データを収集・分析し広報の必要性など医師と検討していきたい。また、平成二十二年から本庁及び各総合支所で、保険証更新時にパンフレットを配布するとともに各世帯に送付し、啓蒙啓発に努めていきたい。

## 産業建設常任委員会付託案件

議案番号	件名	議決結果
議案第1号	債権の放棄について	可決
議案第2号	市道の廃止について	可決
議案第3号	市道の認定について	可決
議案第8号	奥祖谷観光周遊モノレールの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	可決
議案第9号	三好市森林総合利用施設祖谷溪キャンプ村の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	可決
議案第12号	三好市駐車場条例等の一部を改正する条例について	可決
議案第14号	三好市簡易給水施設給水条例の一部を改正する条例について	可決
議案第15号	三好市特産物生産奨励条例の一部を改正する条例について	可決
議案第18号	平成21年度三好市一般会計補正予算(第7号)	可決
議案第22号	平成21年度三好市簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)	可決
議案第23号	平成21年度三好市水道事業会計補正予算(第3号)	可決
議案第24号	平成22年度三好市一般会計予算	可決
議案第29号	平成22年度三好市農業集落排水事業特別会計予算	可決
議案第35号	平成22年度三好市簡易水道事業特別会計予算	可決
議案第36号	平成22年度三好市水道事業会計予算	可決

## 産業建設常任委員会報告



委員長  
渡辺 福夫

三月十日・十一日、委員会が開催され、市長提出議案十五件について審査し、提出議案は全て原案のとおり可決すべきものと決定しました。

### ●議案第十五号については

#### 【問】

現行の特産物(ソバ・コンニャクイモ)生産奨励条例の対象を東西祖谷地域から市内全域に拡大する条例改正であるが、ソバについては、今回の改正により収穫量でなく作付面積によるとある。奨励金を出す決定の時期はいつか。また今後、農業を振興していく上で、それ以外の作物についても奨励制度を設ける考えはあるか。

#### 【答】

ソバの奨励について、地域性等

により収穫量の違いが生じることから、作付面積に対する奨励とし、奨励金は現地確認をして決定する。また、他の作物(特産物)の奨励についても今後検討していきたい。

### ●議案第二十四号については

#### 農林水産業費・農業費の地籍調査費

#### 【問】

地籍調査事業の今後の取り組みについて。

#### 【答】

中山間地域における急速な過疎

化と高齢化が進む中、近い将来、土地の境界が不明確になると危惧されることから、財源が可能な限り強力に事業展開を行い、三好市の地籍調査事業が早期に完成を目指す方向で、職員一丸となり事業の推進に取り組む。

#### 農林水産業費、工事請負費

#### 【問】

市の指名業者の選定方法について審議中、出席委員が定足数を欠くに至り、会議規則第八十六条第三号(会議中、定足数を欠くに至ったときは、委員長は休憩または散会を宣告する)の規定により、午後四時五十二分に散会しました。

#### 【答】

翌日十一日は、午前十時より開会し、関係部署より、「指名審査に関しては、各規定に従い公平・公正に行っている。今後も一般競争入札の導入、総合評価落札方式の検討、小さい地域割等を廃止し、市民に疑念をもたれることのないよう、より透明性を高め、公平・公正に、適正な入札が執行できるように努めていきたい。



## 総務企画常任委員会付託案件

議案番号	件名	議決結果
議案第10号	三好市特別職の職員で非常勤のもの の報酬及び費用弁償に関する条 例の一部を改正する条例について	可決
議案第11号	三好市職員の給与に関する条例等 の一部を改正する条例について	可決
議案第17号	三好市ケーブルテレビ条例の一部 を改正する条例について	可決
議案第18号	平成21年度三好市一般会計補正 予算(第7号)	可決
議案第21号	平成21年度三好市ケーブルテレビ 事業特別会計補正予算(第3号)	可決
議案第24号	平成22年度三好市一般会計予算	可決
議案第31号	平成22年度三好市ケーブルテレビ 事業特別会計予算	可決
議案第32号	平成22年度三好市土地取得事業 特別会計予算	可決
議案第34号	平成22年度三好市井内財産区特別 会計予算	可決
請願第1号	家族従業者の人権保障のため「所 得税法第56条の廃止をもとめる意 見書」の採択を求める請願書	不採決

## 総務企画常任 委員会報告



委員長  
山子 凱雄

三月十二日、委員会が開催され、市長提出議案九件・請願一件について審査し、請願一件を除く提出議案は全て原案のとおり可決すべきものと決定しました。

●議案第六十一号については

総務費・総務管理費・

地域活性化・きめ細やかな

臨時交付金事業について

【問】

この事業の三好市としての交付金の意味あいと地域のバランスを考えているか。

【答】

この事業の趣旨は、地方において経済疲弊が進んでいる中、国で

補正予算として地方が自由に使える交付金を渡し、経済の活性化並びに底上げをしようというのが趣旨である。三好市にとつては、当初の予定額以上の交付が決定した。また、地域間のバランスについても、勘案した予算を編成している。

●議案第二十四号については

総務費

【問】

人件費の予算で行財政改革の観点から、職員の給料カットを暫定的に行なったが、二十二年度の予算をどのような考えで立てられたのか。また、人件費のカットばかりをしていると職員のモチベーションが下がってしまうので、人員が減少してもモチベーションが保てるようにすることが大切である。平成二十八年度で合併の特例が切れるが、それに向かっているコミュニケーションは出来ているのか。

【答】

人事院勧告で、職員の独自カッターを上回る人件費の減額の勧告内容が出たので、それを実施し昨年十一月をもって終了した。今回はそのカット分を除いた形で予算を計上している。財政として一番危惧していることは、平成二十年度の交付税の算定ベースで、個別算定と一本算定の方式があり、三好市は個別算定を選択しているが十年を過ぎると残りの五年間で一本算定の額に落ちてくる。そのため、平成二十年度の交付税算定の基礎数値でいうと約二十四億円の減額を見込んでいる。そこを見据えていかに経費を切り詰めていくのか、行政として市民サービスを最低限提供するためには、市民の皆様も含めて、議会議員、理事者側で積極的に話し合っしてシビルミニマムを設定し、行政サービスの提供の中でどこに重点を置くのが良いかを将来的に方向づけたい。

●請願第一号については

所得税(国税)に関することであり、地方の議会としては判断できないので、今後検討してはどうかということ、現段階では本請願を不採択とすべきと考える。



奥祖谷観光周遊モノレール



登山シーズンを迎えた国見山

## 議会のうごき 【平成22年1～3月】

### 平成22年 1月

- 19日 全国市議会議長会
- 25日 鳴門市正副議長来市
- 28日 土佐町議会来市

### 平成22年 2月

- 4日 議会運営委員会
- 9日 全国市議会議長会評議員会（東京）
- 10日 全国過疎地域自立促進連盟理事会（東京）
- 16日 市町村トップセミナー（徳島）
- 17日 みよし広域連合議会
- 18日 国保運営協議会
- 22日 議会開会・議案説明

### 平成22年 3月

- 1日 代表質問
- 2日 一般質問
- 3日 一般質問
- 4日 一般質問・議案質疑・委員会付託
- 8日 文教厚生常任委員会
- 10日 産業建設常任委員会
- 11日 産業建設常任委員会
- 12日 総務企画常任委員会
- 17日 議会運営委員会
- 19日 委員会報告・採決・議会閉会

## 編集後記

旧六町村の合併から、はや四年の月日が経過し、先日、任期満了に伴う議員及び市長の選挙が行われ即日投票されました。

結果、新人五人を含む、二十四人の議員が決まりました。

今後の市政発展のため、ご活躍を期待いたします。

さて、「三好市議会だより」も年四回の発行で、今回で十六号となりました。「分かりやすく、正確に」をモットーに、議会の様子をお伝えしてまいりましたが、今後とも、一層読者のニーズに応えられるよう努力してまいりますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしく願います。

また、定例会の議会中継をケーブルテレビでご覧いただいていることと思いますが、会議の様子をどなたでも傍聴することができますので、気軽に事務局までご連絡ください。

皆様のご意見、ご感想をお待ちしています。

事務局